

3 主要な事業の施行状況

(1) 大竹を愛する人づくり

読書活動推進事業

新

決算書

173ページ

担当

総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	1,354			1,344	10

児童・生徒及び教職員にとって居心地がよく、新たな知識の発見や学びが創出できる学校図書館づくりを目標に、読書活動推進員を配置し、図書を活用した学習の指導補助等、児童・生徒の読書及び学習環境の改善のほか、蔵書整理などの学校の負担軽減に努めました。

【事業の実施状況】

小学校担当推進員，中学校担当推進員各1名，合計2名を配置しました。

読書活動推進員による蔵書整理，児童への読み聞かせ，図書館だよりの発行，掲示物作成等，多様な読書活動の実施により，児童・生徒が読書を楽しみ，読書に親しむ環境づくりが行われました。

○ 賃金 1,344千円

○ 需用費 10千円

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。



市制60周年記念事業

決算書

87～88ページ

担当

総務課、企画財政課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	647				647
26年度	4,192				4,192

※上記事業費には事務費を含みます。

市制施行60周年を迎える平成26年9月1日に向けて、1年前から周知及び盛り上げのための記念事業を実施しました。

【事業の実施状況】

○ 市民提案事業

わがまちプランの理念を広め、重点取組方向を進める観点から、市民から提案を受け、市民と行政が内容を話し合った後に実施する協働事業です。2回の募集の結果16の交付金交付事業を決定し、全て実施されました。

(交付金交付総額：2,696千円(25年度：644千円、26年度：2,052千円))

○ 職員協働事業

市民との協働の視点で既存の事業を見直し、実践を通じて協働意識の向上をめざす事業を実施しました。

○ その他事業

周知事業、冠事業、大竹市イメージソング作成事業、小方学園歌に振付事業等を実施し、積極的に60周年を祝い、PRしました。

○ 記念式典(アトラクション)

市内外の関係者を招待し式典を挙行し、スライドや映像の上映、アトラクション(ステージ)、記念品の配布等を行い、「先人への感謝の思い」と「大竹を愛する心」を表現しました。



60th Anniversary
Otake since 1954

大好き ♡ おおたけ

笑顔 ♪ 元気いつまでも

学習環境サポート事業

決算書

173ページ

担当

総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	11,384			11,384	0
26年度	14,521			14,521	0

発達障害等により、教育活動上、支援が必要な児童・生徒に、学級支援員を配置し、対象児童・生徒の学習支援と周囲の児童・生徒への理解促進に取り組むことで、学級の学習環境の改善のほか、学校の負担軽減と保護者の不安解消に努めました。

【事業の実施状況】

小・中学校5校に10名の学級支援員を配置しました。
支援した児童・生徒に落ち着きが見られるようになり、学級の学習環境の改善が見られました。

- 賃金 14,495千円
- 旅費 26千円

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。



玖波小学校施設整備事業

決算書

172, 176ページ

担当

総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	4,025	2,555			1,470
26年度	35,362	23,119		12,243	0

※上記事業費には事務費を含みます。

児童と教職員の安全と適切な教育環境を確保するため、玖波小学校に耐震化対策を行います。

平成26年度は、校舎改築に係る基本設計及び実施設計、講堂（体育館）の耐震補強に係る実施設計を実施しました。

今後は、平成27～28年度に玖波小学校校舎の改築工事を行い、平成27年度に講堂（体育館）の耐震補強工事を行うこととしています。

また、工事期間中の玖波小学校児童の安全の確保と工事の早期完成のため、平成27年9月から、玖波小学校は一時的に玖波中学校へ移転します。

【事業の実施状況】

○ 積立金

- ・教育環境充実基金積立金 20,000千円

平成26～27年度にかけて実施する玖波小学校改築工事設計業務のため、再編交付金を財源として基金を積み立てました。

○ 委託料

- ・玖波小学校改築工事設計業務委託料 11,660千円（契約額38,880千円のうち前払金）

〔新校舎概要〕

階数：地上3階 構造：鉄筋コンクリート造 延床面積：3,294.97㎡

1階部分にあすなろ児童クラブを含む。

- ・玖波小学校講堂耐震補強設計業務委託料 3,024千円

○ 事務費（人件費）678千円

（歳入）

※ 教育環境充実基金繰入金 12,243千円

平成26年度に積み立てた基金から、玖波小学校改築工事設計業務委託料の前払金及び事務費支出分について繰入を行いました。

※ 防衛省再編交付金23,119千円を充当しました。

奨学金貸付事業

決算書

174ページ

担当

総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	24,084			18,076	6,008
25年度	19,596			16,940	2,656
26年度	16,692			19,473	△ 2,781

優秀な生徒・学生であって、経済的理由により高校や大学などへの就学困難な者に対し、学資を貸し付けることで有用な人材の育成を図っています。平成24年度から定住促進の一環として、市内に一定期間居住することを要件として返還免除制度を開始しています。

【奨学金貸付の状況】

新規貸付者	9名	新規貸付額	3,888千円
継続貸付者	34名	継続貸付額	12,804千円
返還者	137名	返還額	19,473千円
返還免除者	28名	返還免除額	4,530千円

こども相談室運営事業

決算書

174～175ページ

担当

総務学事課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	5,627				5,627
25年度	3,996				3,996
26年度	4,030				4,030

家庭などで問題を抱えながら生活している子ども・保護者に対し、幼児期から青年期まで一貫した相談を実施できる場所を提供するとともに、不登校の児童・生徒に対し、学習・生活での支援を行い、自立への基礎を培えるよう、相談・指導・助言を行いました。

【事業の実施状況】

○ 教育相談教室…専門職員2名で、相談等を受けています。

(相談件数)	平成24年度	1,955件	(うち電話相談	309件)
	平成25年度	1,226件	(330件)
	平成26年度	1,375件	(420件)

○ 報酬 2,712千円 (共済費含) ○ 役員費 176千円

○ 需用費 490千円 ○ 使用料及び賃借料 404千円

○ 委託料 159千円

○ 備品購入費 89千円

放課後子ども教室事業（放課後子ども総合プラン）

決算書

181ページ

担当

生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	2,264	1,509			755
25年度	1,957	1,304			653
26年度	2,110	1,150			960

放課後・週末の子どもの居場所の確保, 体験活動やスポーツ・学習機会の提供を行います。

次世代育成支援事業として地域や各団体・企業等と連携を図り, 「放課後子ども教室運営委員会」を設置し, 「放課後子ども教室」を開催しています。

【事業の実施状況】

- 開催教室 ソフトテニス, バドミントン, 卓球, 音楽などの体験教室
- 場 所 総合体育館, 総合市民会館, 大竹会館, 玖波小学校, 小方公民館, 大竹中学校
- 対 象 市内在住の保育所(幼稚園) 年長から小学校6年生までの幼児及び児童
- 参加者 延べ 2,465人

放課後児童クラブ事業（放課後子ども総合プラン）

決算書

183~184ページ

担当

生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	27,638	14,564		6,899	6,175
25年度	31,481	15,797		7,716	7,968
26年度	29,578	14,715		7,504	7,359

保護者が安心して働けるよう, 保護者が仕事等で昼間家庭にいない児童に学校授業終了後に遊びや生活の場を提供し, 仕事と子育ての両立を支援しています。待機児童を出さないよう対応しています。

【事業の実施状況】

- 利用者数 ひかり児童クラブ(大竹小学校) 147人
みどり児童クラブ(小方小学校) 99人
あすなる児童クラブ(玖波小学校) 38人
合計 284人

※ 短期的, 一時的な利用者及び年度途中で退会された方も含めた年間総利用者数です。

(2) 生活基盤が整ったまちづくり

大竹市商店街街路灯LED化事業

新

決算書

149ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	530				530

○ 大竹駅前商店街振興組合が、商店街地域の安心・安全なまちづくりを推進していくため、防犯対策の一つとして、歩行者が夜間、安心して通行できるように街路灯を増設し、また既設の街路灯・アーチ灯をLED化した事業について、補助金を交付しました。

【事業の実施状況】

42灯のLED化（既存：33，増設：5，アーチ：4）

総事業費 3,705,560円

《内訳 【国補助金（商店街まちづくり事業補助金）】：2,291千円【市補助金】：530千円 【大竹駅前商店街振興組合負担】：884千円》

ひろしま森づくり事業

決算書

144～145ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	7,600	7,600			0
25年度	6,731	6,731			0
26年度	10,400	10,400			0

【事業の実施状況】

県土の保全や水源かん養など森林の有する公益的な機能を持続的に発揮させるため、除間伐、歩道の整備、植栽体験の開催、放置森林の整備、鳥獣被害を削減・防止するためのバッファゾーン（緩衝地帯）整備、県産間伐木材製品の設置を行いました。

平成27年度以降は、引き続き、人工林や里山林の整備、森林の間伐、間伐材を利用した製品の購入などを行います。また、計画的に進めている森林資源を活用した散策コースやバッファゾーンの整備も継続して実施します。

阿多田地区漁礁整備事業

決算書

146ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	8,293	5,528	2,000		765
26年度	42,467	28,311	10,600		3,556

阿多田地区における漁場生産力の向上及び漁業経営の安定を図るため、漁礁等の設置工事を行いました。

【事業の実施状況】

○ 工事請負費 40,284千円

○ 事務費 2,183千円

工事内容：築いそ工，漁礁工（漁場造成区域3,820㎡）

※ 防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金 28,311千円を充当しました。

養殖漁業技術開発支援事業

決算書

146ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	2,000	2,000			0
26年度	10,005	10,005			0

阿多田地区の養殖技術開発及び養殖魚のブランド化を図る事業の支援として、研究費に対する補助に加え、海上での試験生産を行いました。平成27年度の本出荷を目標に支援を継続する予定です。

【事業の実施状況】

○ 補助金 10,005千円

○ 実施主体 阿多田島漁業協同組合

○ 研究委託先 高知大学

※ 防衛省再編交付金 10,005千円を充当しました。

産業振興奨励事業

決算書

149ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	4,170				4,170
25年度	8,097				8,097
26年度	13,266				13,266

産業の振興を図るため、新たに設備投資等を行った事業所に「産業振興奨励金」を交付しました。

【事業の実施状況】

○ 産業振興奨励金

新たに設備投資等を行った事業者に対し5千万円を上限として、固定資産税の増加課税標準額（家屋及び償却資産）に1,000分の14を乗じた額に相当する額を奨励金として交付します。

- 〔奨励対象〕・大企業：増加課税標準額 5億円以上
 ・中小企業：増加課税標準額 5千万円以上
 〔交付年数〕・1年のみ 100/100

(単位：千円)

	企業・事業所名	24年度	25年度	26年度
産業振興 奨励金	(株)都市ビルサービス	1,606		
	(株)大竹環境保全	1,636		
	富士ポリ(株)	928	702	
	(株)インタフェース		7,395	
	戸田工業(株)			13,266
	計		4,170	8,097



中小企業経営安定支援事業

決算書

149ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	176,697			172,084	4,613
25年度	173,113			168,465	4,648
26年度	143,407			138,745	4,662

地場産業の育成や経営改善のための事業を支援しています。

【事業の実施状況】

- 中小企業者に必要な資金の融資を円滑にし、企業者の信用を一層強化するとともに、指定金融機関・収納代理金融機関に資金を預託し、中小企業者に貸付を行いました。
 - 平成21年度から、広島県信用保証協会の保証料の20%を市が負担しています。
 - ・ 預託利率 0% ・ 協調倍率 3倍
 - ・ 融資条件 市内において1年以上引き続き同一事業を営む中小企業者のなかで納税成績の良好なもの。
 - ・ 中小企業融資新規の貸付件数と貸付額

平成24年度	52件	177,995千円
平成25年度	52件	208,340千円
平成26年度	42件	97,700千円
- 中小企業融資制度等における広島県信用保証協会の保証利用実績(保証債務額)に応じて分担金を支出しました。
- 商工会議所に委託して中小企業振興対策事業を実施しました。
- 経営基盤の弱い中小企業者に対してきめ細かい指導を行い経営の安定を図るため中小企業相談所等に助成金を支出しました。

地域公共交通整備事業（総合連携計画部分）

決算書

92ページ

担当

自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	18,177			14,236	3,941
25年度	22,615			16,055	6,560
26年度	21,907			16,973	4,934

平成26年3月に「第2期大竹市地域公共交通総合連携計画」を策定しました。

こいこい（幹線）バスと三ツ石地区乗合タクシーを本格運行するとともに、支線交通として、乗合タクシー2路線（玖波7・8丁目、湯舟町）と栄ぐるりんバスの実証運行を継続しました。

市民の皆さんが親しみを感じ、「市民自らが創り・守り・育てる」公共交通となるよう、利用促進に努めています。

【事業の実施状況】

- 大竹市地域公共交通活性化協議会の開催 3回
- 幹線交通検討分科会の開催 3回
- 広報紙への啓発記事の掲載 12回
- こいこい（幹線）バスの本格運行（定時定路線型）
JR玖波駅～JR大竹駅間を結ぶコミュニティバスの運行を平成21年10月から継続
利用者数93,088人/年（255人/日 7.65人/便） 収支率67.7%
運行開始から5周年を迎え、記念事業として10月26日（日）の「バスの日」に無料運行を実施しました。
また、土日祝日の利用を促進するとともにモビリティ・マネジメントの一環として、11月の土日祝日に限り、大人に同伴する小学生を無料とする「バスエコファミリーキャンペーン」を実施しました。
- 三ツ石地区乗合タクシーの本格運行（デマンド型）
月・火・金運行 11便/日
三ツ石地区⇄市役所・ゆめタウンを結ぶ乗合タクシーを運行
利用者数1,263人（792台） 1.59人/台 収支率：39.0%
- ひまわりタクシー（玖波7・8丁目）の実証運行（デマンド型）
月・火・金運行 11便/日
玖波7・8丁目地区⇄JR玖波駅・広島西医療センターを結ぶ乗合タクシーを運行
利用者数1,141人（725台） 1.57人/台 収支率：36.9%
- 湯舟のりあいタクシーの実証運行（デマンド型）
月・水・金運行 10便/日（H26.12月から 火・水・金運行 10便/日）
湯舟地区⇄JR玖波駅・広島西医療センターを結ぶ乗合タクシーを運行
（H26.12月から湯舟地区⇄広島西医療センター・ゆめタウン）
利用状況が芳しくないため、全世帯アンケートの結果を参考にして、12月から運行内容を変更しました。
利用者数234人（196台） 1.19人/台 収支率：30.7%
- 栄ぐるりんバスの実証運行（定時定路線型）
栄地区⇄大竹駅を結ぶコミュニティバスを運行
月～土運行 14便/日
利用者数8,096人 25.9人/日 1.85人/便 収支率：14.1%

※ 定時定路線型…決まった時刻に決まったルートを運行する形態

※ デマンド型…利用者からの予約に応じてルートを設定し運行する形態

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。

斎場改修事業

決算書

128ページ

担当

環境整備課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	50,134			47,520	2,614

安定した斎場運営を行うため、老朽化した斎場の設備の改修を行いました。

【事業の実施状況】

- 3基の火葬炉について、下記の設備を改修しました。
 - ・火葬炉の吸気、排気等の通風設備
 - ・火葬炉の制御盤及び各制御機器
- 工事請負費 47,520千円
- 事務費 2,614千円



県道改良事業（県営事業負担金）

決算書

156ページ

担当

監理課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	11,202		11,200		2
25年度	6,183		5,500		683
26年度	19,489		17,400		2,089

県が管理する市内の道路の改良について、「広島県建設事業負担金条例」に基づき、県に対して負担金を支出しました。

【事業の実施状況】

路線名等	地区名	事業内容	全体事業費 (千円)	市負担率	市負担額 (千円)
県道栗谷大野線	後原	○道路改良工事 ・工事延長 L=420.8m W=5.5m 盛土工 V=4,690 ^m ₃ 側溝工 L=427m 集水柵 N=18箇所 護岸工 A=219 ^m ₂ ○道路改良工事 ・工事延長 L=720.0m 盛土工 V=7,910 ^m ₃ ブロック積工 A=195 ^m ₂ 側溝工 L=575m 集水柵 N=14箇所 アスファルト舗装工 A=1,130 ^m ₂	69,920	1/10	6,992
管内一円道路	市内	○道路改良工事 ・工事延長 L=40.5m 水路工 L=94m 集水柵 N=10箇所 舗装工 A=444 ^m ₂ カラー舗装工 A=127 ^m ₂	9,969	1/10	997
国道186号	安条～油見	○道路改良工事 ・工事延長 L=37.0m W=6.5m 掘削工 V=1,639 ^m ₃ 場所打擁壁工 V=176 ^m ₃ 待受擁壁工 L=32.0m 簡易法枠工 A=297 ^m ₂ 薬液注入工 N=40本 ○機械器具設置工事 ・ポンプ整備 1基 ○電気工事 防鹿水源地 5号ポンプ制御盤 1式 超音波式流量計 1組 ○残土処理工 一式	115,000	1/10	11,500

港湾整備事業（県営事業負担金）

決算書

159ページ

担当

監理課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	11,482		11,400		82
25年度	59,901		57,100	1,724	1,077
26年度	31,305		31,100	73	132

県が管理する港湾整備事業について、「広島県建設事業負担金条例」に基づき、県に対して負担金を支出しました。

【事業の実施状況】

港湾名称	地区名	事業内容	全体事業費(千円)	市負担率	市負担額(千円)
大竹港	御幸町	○工事延長 L=60.0m ・深層混合処理杭打設 N=675本 ・東栄地区防舷材補修 N=6基 ・飛石地区防舷材補修 N=10基	150,000	1/10	15,000
	小方	○防波堤工事 ・工事延長 L=120m 直立消波ブロック製作・据付 N=162個 上部コンクリート V=161m ³	51,728	1/4	12,932
	東栄	○立入防止柵設置工事 ・立入防止柵設置 L=573m ・道路反射鏡設置 N=4基	10,120	1/3	3,373



岩国大竹道路用地取得事業

担当

監理課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	0				0
25年度	0				0
26年度	0				0

※国の事業のため、事業費は計上していません。

国の事業である岩国大竹道路の建設に伴う用地の先行取得を、平成17年度から平成26年度まで行いました。

市は、大竹市土地開発公社が行う用地の取得に係る借入金に対して、債務を保証する債務負担行為を設定しています。

【事業の実施状況】

	17~24年度	25年度	26年度
契約件数 (件)	262	19	10
契約金額 (千円)	7,155,718	292,892	70,245
買収面積 (m ²)	52,660.32	6,354.36	883.67
用地取得進捗率 (%)	49.7	54.9	56.4

※「債務負担行為」とは、数年度にまたがって行われる事業において、契約はその年度に行うものの、支払いについては将来にわたって行うことを約束する行為をいいます。

※実施状況の数値については、大竹市土地開発公社が先行取得を行ったものです。

※先行取得した土地は、後年度に借入金にかかる利子や事務費も含めて国が、再取得することになります。

住宅・建築物耐震診断・改修補助事業

決算書

152ページ

担当

都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	30	15			15
25年度	60	30			30
26年度	30	15			15

平成21年度に策定した耐震改修促進計画に基づき、昭和56年5月31日以前に着工された市内の戸建住宅について計画的に耐震改修を促進するため、耐震診断及び耐震改修の助成を行います。耐震診断費用の2/3(上限3万円)・耐震改修費用の一部を補助します。

【事業の実施状況】

○ 補助金(耐震診断) 30千円(補助件数:1件)

大竹駅周辺整備事業

決算書

161ページ

担当

都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	10,080		9,000		1,080
25年度	13,694				13,694
26年度	55,003	39,963			15,040

※上記事業費には事務費を含みます。

JR山陽本線で分断されている大竹駅周辺の交通ネットワークの形成と活性化を目的とし、東西間を跨線橋の自由通路で結び、駅東側に交通広場を整備する「大竹駅東口広場整備事業」に平成7年度から取り組んできましたが、景気の低迷や、地権者・関係機関との調整の難航などにより、事業が延伸されてきました。

一方で、「大竹駅及び駅周辺のバリアフリー化、橋上駅の実現等についての陳情」が議会で採択されたことや、人口減少・少子高齢化、地球温暖化などの社会環境の変化、「第五次大竹市総合計画（わがまちプラン）」などとの整合を図り、平成23年度に大竹駅周辺のまちづくりや整備のあり方を見直し、「大竹駅周辺整備新構想」を策定しました。『すべての人が利用しやすく、住みよいまちへ～「交通・賑わい・シンボル・生活・交流」拠点づくり～』を基本コンセプトとし、事業に取り組んでいます。

平成26年度は大竹駅周辺整備基本設計業務を行い、関係機関との協議を進めました。

【事業の実施状況】

○ 委託料（大竹駅周辺整備基本設計業務） 47,875千円

※再編交付金31,163千円を充当しました。

南栄下白石線外 1 路線道路改築事業

決算書

161ページ

担当

都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	0				0
25年度	513		400		113
26年度	5,892		5,100		792

白石・元町地区の都市基盤となる都市計画道路を整備し、交通ネットワークを構築することにより健全な市街地の形成及び良好な住環境の創出を促すものです。

平成26年度は、南栄下白石線外1路線道路改築に伴う倉庫解体工事を行いました。

【事業の実施状況】

○ 工事請負費（南栄下白石線外1路線道路改築に伴う倉庫解体工事）
4,174千円

○ 委託料 1,410千円

○ 事務費 231千円

晴海臨海公園整備事業

決算書

162ページ

担当

都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	33,532	33,000			532
25年度	498,616	346,596	150,300		1,720
26年度	327,806	231,280	90,200		6,326

※上記事業費には事務費を含みます。

子どもから高齢者まで全ての市民がスポーツに接し、健康づくりや生きがいくりの拠点であるとともに、世代間交流の広がる憩いの場となることを目的とし、また市内外からも多くの方が来園してもらえるよう、魅力ある公園の整備を行います。

平成25年度から平成26年度にかけて管理棟の建築及びスポーツゾーンの整備を行い、平成27年4月から供用開始しました。

【事業の実施状況】

- 委託料 8,679千円
- 工事請負費 305,079千円
- 備品購入費・消耗品費 4,914千円

※ 防衛省再編交付金 61,883千円を充当しました。

※ 防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金 169,397千円を充当しました。

さかえ公園整備事業

決算書

161ページ

担当

都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	1,785	1,785			0
26年度	10,153	9,882			271

平成22年度に多目的トイレの改築、平成23年度に複合遊具の改築更新を行ってまいりましたが、供用開始から40年以上経過した施設は老朽化し、利用面に課題があります。

このため、今後の改修にあたり、利用者である地域住民が参加するワークショップを開催しました。この中で意見・アイデアを出し合い協働で改修計画（構想）の検討を行いました。この結果を踏まえ、平成26年度は、さかえ公園改修測量実施設計業務を行いました。

【事業の実施状況】

- 委託料（さかえ公園改修測量実施設計業務） 9,882千円
- 事務費 271千円

※ 防衛省再編交付金 9,882千円を充当しました。

御園市営住宅整備事業

決算書

164ページ

担当

都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	10,735	5,223	5,200	312	0
26年度	19,164	8,953	9,700	511	0

御園2・3号アパート及び御園団地の木造・簡易耐火平屋を統合して、御園6号アパートの建設及び周辺整備を行っています。

平成25年度は、宅地造成に係る境界の確認、公図等の整理業務を行いました。

平成26年度は、宅地造成の実施設計、建物の基本設計を行いました。

平成27年度は、開発造成工事、建設実施設計を行います。

【事業の実施状況】

- 委託料（市営住宅御園6号棟建設に伴う敷地造成実施設計業務、建設基本設計業務）18,652千円
- 事務費 512千円

住宅リフォーム補助事業

決算書

163ページ

担当

都市計画課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	2,928	1,335			1,593
25年度	2,998	1,215			1,783
26年度	1,881	750			1,131

子ども、高齢者、障害者及びその同居者等の住居内での事故防止、負担軽減、団らんなど生活環境の向上を図ることにより安全に安心して快適に住み続けられるよう、子育て世帯、高齢者世帯、障害者世帯の住宅リフォームに要する費用の一部を助成します。

【事業の実施状況】

- 補助金 1,881千円
- 補助件数 24件、1件あたりの最高補助額10万円

玖波駅西口及び玖波36号線道路改良事業

決算書

152, 156ページ

担当

土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	46,720	19,800	24,100	2,820	0
25年度	23,653	14,000	4,800		4,853
26年度	92,542	36,047	52,000	1,790	2,705

JR玖波駅への利便性の向上を図るため、駅西側に新たに集改札口（駅舎）と西口広場を整備するものです。26年度は、西口広場の整備、駅舎用地の造成、県道大竹湯来線からのアクセス道路の整備を行いました。

【事業の実施状況】

(単位:千円)

事業年度	事業概要	工事費等	事務費	事業費計
24年度	用地買収A=575㎡, 支障物件移設	46,720		46,720
25年度	用地買収A=272㎡, 支障物件移設等	23,378	275	23,653
26年度	西口広場整備, 駅舎用地造成, アクセス道路整備等	89,943	2,599	92,542

橋りょう長寿命化対策事業

決算書

155ページ

担当

土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	6,661	3,663			2,998
26年度	7,552	4,009	2,900		643

橋梁長寿命化修繕計画に基づき、予防保全的補修を計画的に行うことにより、橋梁の補修・更新に係る費用の縮減と平準化を図ります。

平成26年度は恵川橋の補修等実施設計業務及び能保里橋の測量業務を行いました。

【事業の実施状況】

(単位:千円)

事業年度	事業概要	業務費等	事務費	事業費計
26年度	測量設計業務	7,350	202	7,552

市道改良事業

決算書

156ページ

担当

土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	19,608		15,800		3,808
25年度	182,466	67,609	105,600	5,246	4,011
26年度	37,060	9,889	21,000	572	5,599

交通安全と道路環境の向上を図るため、市道の改良を行いました。工事は側溝改良（暗渠化）による道路幅員の有効利用，舗装改良による道路環境の改善を図ること，床版補修による歩道通行の安全確保を目的に，次の路線を整備しました。

【事業の実施状況】

(単位:千円)

路線名	事業概要	工事費等	事務費	事業費計
御園3号線	用地買収A=166㎡，補償	17,997		17,997
本町元町1号線	道路側溝設置L=139m，舗装工A=216㎡	9,116	501	9,617
白石7号線	道路側溝設置L=12m，舗装工A=9㎡	1,137	62	1,199
測量設計業務	道路改良調査設計等	3,302	90	3,392
本町6号線	道路側溝設置L=142m，舗装工A=243㎡	4,855		4,855
計		36,407	653	37,060



(3) 安全なまちづくり

救急搬送用船舶改修補助事業

新

決算書

167ページ

担当

消防本部

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	2,789	2,788			1

阿多田島で発生した救急患者は、登録した漁船で小方港まで搬送しています。
従来の漁船では担架を船内に収容できなかつたり、車いすを収納できない構造となつていたため、患者が風雨にさらされることがある状態でした。
患者の負担が軽減されるように、担架や車いすを船内に収容できるようにキャビンや入口の拡張など必要な改修を行い、これに要する費用を補助しました。

【事業の実施状況】

○ 救急搬送用船舶改修補助金 2,789千円(3隻)

※防衛省再編交付金 2,788千円を充当しました。



水防体制整備事業

拡充

決算書

169～170ページ

担当

総務課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	10,614	10,500			114
25年度	12,838	10,815			2,023
26年度	2,515				2,515

大竹市内にある全指定避難場所に対応する災害を明記した案内看板を設置しました。また、土砂災害防止法による区域指定に伴い栗谷地区や木野・川手地区の土砂・浸水避難地図を改訂しました。さらに水防活動に必要な備品の整備を行いました。

【事業の実施状況】

- 委託料（避難場所表示看板作成・設置業務委託料） 810千円
- 委託料（土砂・浸水避難地図修正業務委託料） 1,286千円
- 備品等整備（消耗品費） 419千円

防災訓練等実施事業

決算書

170ページ

担当

総務課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	70				70
26年度	49				49

平成26年8月に発生した市内の豪雨災害により、白石地区では浸水被害や土砂災害による被害が発生したことから、地域が独自のハザードマップ作りを企画し、市と協働して作成しました。作成したハザードマップは白石地区全戸に配布し地区住民の防災意識の向上を図りました。

【事業の実施状況】

ハザードマップ作成地区

- 白石1丁目地区
- 白石2丁目地区

消費生活相談事業

決算書

147～148ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	4,052	3,102			950
25年度	3,060	2,052			1,008
26年度	3,826	2,786			1,040

市民の消費生活の安定と向上のため「大竹市消費生活センター」にて、消費生活相談員による相談業務（週2日）や、消費生活に関する啓発活動を行いました。

- 相談業務
場所 大竹市小方一丁目11番1号（大竹市役所産業振興課内）
受付時間 毎週火・金曜日（祝日・年末年始を除く）9時～16時
- 啓発活動
ケアマネージャー等の会合やコイ・こいフェスティバルにおいて消費生活トラブルを未然に防ぐための講座などを行いました。また、広報紙に毎月消費生活に関する記事を掲載しました。
- 広島県消費者行政活性化事業補助金を活用して、高齢者などを狙った特殊詐欺等の対策のため大竹市消費生活センターのPR冊子を制作し広報誌に折込み全戸配布しました。

【事業の実施状況】

- 年度別相談件数

年度	件数	種別		年度	件数	種別	
24年度	100 [28]	架空請求	9	26年度	49 [一]	架空請求	9
		多重債務	4			多重債務	1
		訪問販売	9			訪問販売	3
		電話販売	17			電話販売	11
		マルチ商法	—			マルチ商法	1
		通信販売	5			通信販売	7
		その他	56			その他	17
25年度	55 [一]	架空請求	4	※「その他」には、司法書士への相談件数(相続関係等)を含んでいます。件数欄の[]内は、司法書士相談件数			
		多重債務	4				
		訪問販売	8				
		電話販売	12				
		マルチ商法	1				
		通信販売	5				
		その他	21				

急傾斜地崩かい対策事業（県営事業負担金）

決算書

158ページ

担当

監理課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	16,190		12,800	2,536	854
25年度	10,049		8,900	436	713
26年度	1,816		1,600	156	60

県が管理する急傾斜地の崩かい対策事業について、「広島県建設事業負担金条例」に基づき、県に対して負担金を支出しました。

【事業の実施状況】

地区名	事業内容	全体事業費(千円)	市負担率	市負担額(千円)
後原	<ul style="list-style-type: none"> ○測量業務 ・用地測量 A=21,500㎡ ・重力式擁壁詳細設計(修正) N=1箇所 ・場所打ち法枠詳細設計(修正) N=1箇所 	5,199	1/20	260
玖波	<ul style="list-style-type: none"> ○法面処理工事 ・工事延長 L=44.6m ・吹付法枠工 A=794㎡ ・張コンクリート工 V=78㎡ 	5,556	1/10	556
立戸	<ul style="list-style-type: none"> ○土木一式工事 ・工事延長 L=35.3m ・待受擁壁工 V=303㎡ ・法枠工 L=689m ・落石防護柵工 L=44m ・側溝工 L=149m 	10,000	1/10	1,000



水路改良事業

決算書

157ページ

担当

土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	18,511		9,200		9,311
25年度	14,226		5,800		8,426
26年度	9,476				9,476

老朽化した既存河川・水路護岸の改修を行い、河川水路の流下能力の向上を図り、溢水等の被害解消と生活環境の改善を目的に、河川・水路の改修等を行いました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

河川・水路名	事業概要	工事費等	事務費	事業費計
中浜ポンプ場	φ300排水ポンプ取替え	2,203	121	2,324
元町南栄排水路	概略設計	497	13	510
その他水路等	水路補修・浚渫等	6,296	346	6,642
計		8,996	480	9,476

急傾斜地崩かい対策事業

決算書

158ページ

担当

土木課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	16,928	6,317	9,600		1,011
25年度	12,845	3,880	8,700		265
26年度	12,317	4,500	7,700		117

市内の急傾斜地崩壊危険箇所について、宅地背面の崖面崩壊を防ぐための擁壁設置等の斜面崩壊防止対策工事を実施しました。

【事業の実施状況】

事業年度	施工箇所	工事延長 (m)	工事費等 (千円)	事務費 (千円)	事業費計 (千円)
24年度	安条地区、阿多田2箇所 立戸地区 (測量)	42.9	16,047	881	16,928
25年度	立戸2丁目地区 木野2丁目A地区 (測量設計)	8.4	12,502	343	12,845
26年度	木野2丁目A地区 阿多田宮の下地区 (測量設計)	11.0	11,988	329	12,317

災害復旧事業

決算書

196～199ページ

担当 環境整備課, 土木課
都市計画課, 生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	1,860	1,032	600		228
26年度	101,444	8,025	83,300		10,119

26年7・8月の大雨や台風により被害を受けた農道, 林道, 道路, 河川・水路関連の災害復旧工事等を実施しました。なお, 阿多田1号・2号農道及び阿多田小学校については, 27年度に繰越しました。

【事業の実施状況】

(単位: 千円)

分野	主な箇所・内容	工事費等	事務費	事業費計
農道関連	阿多田1号・2号農道の倒木崩土等の撤去, 仮設防護柵設置	10,135	107	10,242
	阿多田1号農道災害復旧工事(前払い金)			
林道関連	立戸山林道復旧, 松ヶ原奥谷尻線の側溝堆積土砂除去	3,498	102	3,600
道路関連	大迫谷尻線災害復旧	64,583	3,817	68,400
	立戸山手線復旧, その他路線の法面保護・崩土撤去等			
	土のう運搬, がれき・土砂処分 立戸一丁目地内里道測量設計業務等			
河川・水路関連	平原川・稲荷谷川支川・谷郷川・入川水路等の崩土撤去及び浚渫	11,027	639	11,666
	広原川災害復旧			
	広原川災害復旧に伴う測量設計業務			
市営墓地関連	市営梅ヶ滝墓地災害復旧工事	1,299	0	1,299
公園関連	亀居公園法面復旧工事	3,635	250	3,885
市営住宅関連	災害崩土・倒木撤去工事(平原住宅), 構内汚泥除去清掃作業(白石アパート)	1,442	0	1,442
教育関連	海の家あたた取付道路災害復旧工事	852	58	910
計		96,471	4,973	101,444



化学機動隊資機材整備事業

決算書

165～167ページ

担当

消防本部

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	836	311			525
26年度	1,179	817			362

重大な化学災害に対応するため、化学機動隊「大竹ハズマット」を立ち上げ、資機材の整備並びに専門的知識を有する精鋭部隊を育成しています。

【事業の実施状況】

- 備品購入費（化学機動隊資器材） 817千円
LED防爆型携帯ライト，救助訓練マット，ドレーゲル携帯警報器等
- 資格等取得費（化学機動隊員） 362千円

毒物劇物取扱責任者，第3種放射線取扱主任者，酸素欠乏・硫化水素危険物作業主任者，特定化学物質及び四アルキル鉛等作業主任者，危険物施設総合研修，第2種電気工事士

消防車両整備事業

決算書

166～167ページ

担当

消防本部

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	41,860	40,740			1,120
26年度	88,147	88,020			127

救助工作車が老朽化し，更新する必要がありました。
車両性能と艤装技術向上により，消防ポンプ車の機能を併せ持った救助工作車が制作できることからポンプ付救助工作車を整備しました。
2車両の機能を1台とすることで少ない人員での災害対応が可能になり，経費も軽減できています。
主な装備としては，クレーンウィンチ・照明装置・油圧救助器具・A-1ポンプ（毎分3,000リットルの放水量）です。

【事業の実施状況】

- 備品購入費（ポンプ付救助工作車） 88,020千円
- 事務費 127千円

※ 防衛省再編交付金 88,020千円を充当しました。

消防団車両整備事業

決算書

168～169ページ

担当

消防本部

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	4,573	4,281			292
25年度	6,613	6,436			177
26年度	32,508	6,567	25,800		141

消防力の維持・向上を図るため老朽化した5台の小型動力ポンプ付積載車を更新しました。

【事業の実施状況】

- 備品購入費（小型動力ポンプ付積載車） 32,076千円
第1分団，第2分団，第7分団第3部，第11分団第2部，第12分団第2部
- 事務費 432千円

第12分団消防屯所改築等整備事業

決算書

168～169ページ

担当

消防本部

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	2,468		1,800		668
26年度	47,827		47,800		27

第12分団第2部屯所は，昭和47年に建設され，老朽化が激しく改築の必要がありました。

木野のまちづくりを考えたところ，第2部屯所単体を改築するより第1部屯所（昭和55年築）と統合し，新たに第12分団屯所を建設することが，消防体制の充実・強化になることから建設したものです。

場所は，避難施設の体育館，木野公民館に隣接した木野一丁目10番17号，敷地は227.41㎡，建物は木造平屋建て面積は105㎡です。

【事業の実施状況】

- 手数料 123千円
- 委託料（建設設計業務委託料，建設工事監理業務委託料） 6,156千円
- 工事請負費（宅地造成工事，解体工事，建設工事） 41,548千円

(4) 安心できるまちづくり

妊産婦歯科健康診査事業

新

決算書

128ページ

担当

社会健康課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	830			830	0

【事業の実施状況】

妊娠中は、ホルモンバランスの変化などにより、口腔内の衛生状態が悪化しやすい時期です。また、出産後も子そだてで自身のケアが後回しになりやすい時期でもあります。妊産婦自身の口腔衛生が、その後の子どものう蝕（むし虫）の一因になる場合もあるため、妊娠期から口腔ケアの必要性を理解し、実践するきっかけにするための健康診査を実施しました。

妊産婦歯科健康診査受診券2枚（妊娠期1回分、産後1回分）を交付し、委託医療機関で歯科健康診査を受診できるよう支援しました。

歯科健康診査の内容：う蝕（むし歯）の検査、歯周病検査

【実績】

平成26年度：176件（妊婦：99件、産婦77件）

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。

臨時福祉給付金支給事業

新

決算書

104～105ページ

担当

社会健康課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	74,224	74,219			5

【事業の実施状況】

平成26年4月から実施された消費税率の引き上げに伴い、低所得者への負担緩和のため暫定的・臨時的措置として臨時福祉給付金を支給しました。

○ 対象者

平成26年度市民税が課税されていない方。

（ただし、自身を扶養している親族等が課税されている方や生活保護制度の被保護者となっている方は除く。）

○ 支給額

対象者1人につき1万円（平成26年4月から平成27年9月分）

老齢基礎年金等の受給者は5千円の加算給付があります。

○ 支給決定者数 4,668人（うち加算対象者2,975人）

○ 給付費 61,555千円 ○ 事務費 12,669千円

子育て世帯臨時特例給付金支給事業

新

決算書

112~114ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	33,053	33,052			1

【事業の実施状況】

平成26年4月から実施された消費税率の引き上げに際し、子育て世帯への影響を緩和するとともに、子育て世帯の消費の下支えを図る観点から、対象児童一人につき1万円を支給しました。

- 申請受付期間 平成26年7月17日から平成26年11月28日まで
- 支給決定者数 1,657人
- 支給決定対象児童数 2,790人
- 給付費 27,900千円
- 事務費 5,153千円

病児・病後児保育運営事業

新

決算書

117ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	9,280	4,468			4,812

保護者の勤務の都合等により、家庭で保育できない満1歳から小学校3年生までの保育所、幼稚園や小学校に通えない病児や病後児を保育します。

【事業の実施状況】

平成26年4月から独立行政法人国立病院機構広島西医療センターに委託して病児・病児保育室（愛称：にっしーくんハウス）を開設しています。

- 利用可能時間 月曜日から金曜日の午前8時15分から午後6時00分
- 利用料 市内に住所を有する児童…1千円
市外の児童（保護者が大竹市内の事業所に勤務）…2千円
- 利用定員 3名/日
- 委託料 年額9,280千円（平成26年度実績額）
- 年間利用者数 延べ241人

健康増進事業 拡充

決算書
124~125, 217~218ページ
担当
社会健康課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	30,744	6,402		7,302	17,040
25年度	53,867	12,750		3,935	37,182
26年度	65,190	11,626		6,341	47,223

疾病を予防することは、市民の生命を守り、健康で自立した生活を維持するために大変重要であり、また医療費の抑制にもつながることから、様々な疾病への予防に対する取り組みを強化しました。

【主な事業の実施状況】

個別事業名	事業費 (千円)	財 源 内 訳 (千円)				事業内容
		国県支出金	地方債	その他	一般財源	
一般健診, 肝炎ウイルス検診事業	33,049	3,702		3,579	25,768	<p>生活習慣病の予防やがんをはじめとする疾病の早期発見・早期治療を行うとともに、市民の健康を保持するため、健診（検診）を実施しました。</p> <p>受診しやすい健診（検診）を進めるため、再編交付金を活用して、大腸がん検診の自己負担額の無料化を実施しました。</p> <p>40歳～74歳の国民健康保険被保険者に対しては、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)に着目した健診及び保健指導を実施しました。</p>
がん検診事業						
【国民健康保険特別会計】 特定健康診査・特定保健指導 【決算書217頁】	14,945	7,924			7,021	
後期高齢者医療人間ドック, 脳ドック事業	2,159			2,533	△ 374	
【国民健康保険特別会計】 国民健康保険人間ドック, 脳ドック事業 【決算書218頁】	9,012				9,012	
健康手帳配布事業	498			105	393	健診（検診）や健康づくりの自己管理が行える健康手帳を配布しました。

健康相談事業	22			34	△ 12	病気の発生や重症化の予防のために、保健師や栄養士による個別相談を行いました。
訪問指導事業	17			3	14	疾病の予防のために、保健師などによる家庭への訪問指導を行い、健康に関する問題を総合的に把握し、生活改善などの必要な指導を行いました。
健康教育事業	433			87	346	生活習慣病などの疾病を予防するため、健康講座、パンフレットや広報などによる啓発を通じて、健康に関する正しい知識の普及に努めました。
【一般会計・国民健康保険特別会計】 糖尿病対策推進事業	5,055				5,055	糖尿病対策の普及啓発として、尿検査紙の配布や血糖値測定会、保健師等による出前健康講座を行いました。

※財源については、翌年度に精算するため過剰になっている場合があります。



健康づくり・介護予防一体推進事業

決算書

217～218, 256～257ページ

担当

社会健康課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	14,352	4,728		1,577	8,047
25年度	15,034	4,924		1,642	8,468
26年度	18,633	8,489		1,940	8,204

発病の予防や健康増進の取り組みと介護予防の取り組みを、様々なプログラムを通じて一体的に行うことにより、介護が必要にならないよう、自立支援を強化するとともに、健康的な市民生活の維持・促進につなげます。

【国民健康保険特別会計】

ヘルスアップ事業

生活習慣病対策に重点を置いた健康づくり事業として大竹市ヘルスアップ事業を実施し、生活習慣病の予防を中心に位置付け、事業参加者個人の自主的な健康増進及び疾病予防を推進することにより、参加者の健康寿命の延伸と生活の質（QOL）の維持向上を目指すとともに高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）に基づく特定保健指導を補完することを目的としています。

この目的達成のため、団体・地域における自主的な運動をサポートするための「運動指導者育成教室」と個人の生活習慣改善等のための「運動教室」を開催しました。

ヘルスアップ事業

決算書218ページ

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	1,742				1,742
25年度	1,902				1,902
26年度	2,000				2,000

【事業の実施状況】

○ 運動指導者育成教室

対 象	自治会・老人クラブ・自主運動グループ等の団体からの代表者		
実施期間	平成26年6月～8月（全7回）	延参加者数	102人
内 容	大竹ふれあい健康・福祉まつり及び市民ウォーキングでの健康体操の実施を目標に教室を実施しました。 健康運動指導士によるラジオ体操を中心とした体操を人前でもできるよう指導しました。		

○ 運動教室

実施期間	平成26年8月～12月（全15回）	延参加者数	220人
内 容	ピラティスを中心とした体操を実施しました。 正しい姿勢やインナーマッスルを強化することで、腰痛や肩こりなどを軽減し、筋力の増強により肥満防止の効果を図りました。 この教室の参加により、仲間意識も高まり、教室終了後には自主グループも結成されました。		

○ 自主グループ支援

実施期間	通年	実施グループ数	9グループ
内 容	運動指導者育成教室や運動教室を卒業した方々が、自主的な活動グループを結成して運動を継続しています。そのグループに対して、講師派遣の支援を行いました。		

【介護保険特別会計】

介護予防事業（主な事業）

様々な教室を開催し、介護予防を実践していく人を増やしていきます。また、地域での活動や自宅での介護予防の実践は、元気で自立した生活につながっていきます。教室に参加することが、閉じこもり防止や友人とのふれあいなど、普段の生活に生きがいを持てるような支援となり、介護給付の削減にもつながります。

①通所型介護予防事業

決算書256ページ

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	1,619	607		203	809
25年度	1,912	717		239	956
26年度	3,305	1,239		414	1,652

対象者把握事業において、該当した方にゆうゆう教室の参加案内をしています。ゆうゆう教室に参加した皆さんが教室で学んだ介護予防を家庭でも実践していけるような教室を開催しました。

【事業の実施状況】

教室名	教室数(教室)	開催数(回)	延参加人数(人)
ゆうゆう教室	4	81	1,084

②対象者把握事業

決算書256ページ

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	1,314	492		165	657
25年度	3,615	1,355		452	1,808
26年度	3,952	1,239		494	2,219

65歳以上の要支援・要介護認定を受けていない方（無作為に抽出）を対象に「基本チェックリスト」を送付して、心身の状態をチェックしていただく調査です。回答いただいた方には、「結果アドバイス票」と様々な教室案内を送付しました。

【事業の実施状況】

送付者数(人)	回答者数(人)	該当者数(人)
2,999	2,277	617

③地域サロン 講師派遣事業

決算書256～257ページ

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	5,050	1,893		632	2,525
25年度	5,154	1,932		645	2,577
26年度	5,756	2,158		720	2,878

地域をあげての健康づくり・介護予防に取り組む体制づくりのため、介護予防の取り組みを行っている地域のサロンや自主グループに講師を派遣し、介護予防の普及に努めました。

【事業の実施状況】

開催数(回)	延参加人数(人)
309	2,889

④総合介護
予防教室事業

決算書257ページ

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	2,100	787		263	1,050
25年度	2,100	787		263	1,050
26年度	2,000	750		250	1,000

市民の皆さんが、介護予防について学んだことを自分たちで実践していけるよう、様々な教室を開催しました。

【事業の実施状況】

教室名	開催数(回)	延参加人数(人)
転倒予防教室	19	308
3B体操	15	245
悩み別教室	10	272
ウォーキング教室	10	306
ノルディック・ウォーキング教室	9	123
脳トレ・筋トレ	10	203
ゆる体操	43	1,442
料理教室	3	67
合計	119	2,966

救急医療施設人材(助産師等)育成支援事業

決算書

123ページ

担当

社会健康課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	893				893
25年度	752				752
26年度	540				540

広島西二次保健医療圏の拠点病院であるJA広島総合病院の産科医療体制等の充実に向け、不足している助産師及び看護師を育成、確保するため、同病院の人材確保事業に対して廿日市市と共同して補助金を交付しています。(平成21～27年度の補助事業)

JA広島総合病院は、平成19年2月から分娩制限を行っていましたが、制限開始時点で14名だった助産師が27名に増えたことで、平成25年7月に分娩制限を解除しました。

【事業の実施状況】

年 度	助産師(人)	看護師(人)
24年度	—	11
25年度	—	9
26年度	—	7

※ 助産師は、平成21～23年度で、予定した12名の育成に対して補助を行ったため、平成24年度以降の実績はありません。

予防接種推進事業

決算書

124～125ページ

担当

社会健康課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	66,790	9,969		1,215	55,606
25年度	60,215			900	59,315
26年度	61,448			198	61,250

麻疹、風しんや日本脳炎、ポリオ、インフルエンザ(65歳以上対象)など、感染の恐れがある疾病の発生や蔓延を予防するために、予防接種を行いました。

平成26年10月から、水痘と高齢者肺炎球菌が定期予防接種に導入され、接種を開始しました。

(高齢者肺炎球菌は、費用助成事業から定期予防接種へ変更されました。)

【事業の実施状況】

○定期予防接種

(件)

	四種混合	三種混合	二種混合	不活化ポリオ	麻疹風しん混合	日本脳炎	BCG	子宮頸がん予防ワクチン	ヒブワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン	水痘	高齢者肺炎球菌	インフルエンザ
24年度	165	624	185	667	786	951	165	—	—	—	—	—	4,390
25年度	689	182	194	296	383	789	206	58	923	900	—	—	4,564
26年度	813	35	163	96	408	787	191	3	834	828	427	624	4,708

※ 四種混合：平成24年11月接種開始

不活化ポリオ：平成24年9月接種から開始

麻疹風しん混合(MR)：平成24年は3期(中学1年生)、4期(高校3年生)の接種あり。

水痘・高齢者肺炎球菌：平成26年10月から接種開始

インフルエンザ：65歳以上が対象

子宮頸がん予防ワクチンの接種は、国の通知により、平成26年6月から積極的な勧奨を控えています。

○費用助成事業(任意接種) (件)

	子宮頸がん予防ワクチン	ヒブワクチン	小児用肺炎球菌ワクチン	高齢者肺炎球菌	インフルエンザ
24年度	378	787	808	405	214
25年度	—	—	—	769	242
26年度	—	—	—	111	167

※ 子宮頸がん予防ワクチン・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌ワクチン：平成25年度から定期予防接種に導入されました。

高齢者肺炎球菌：平成26年10月から定期予防接種に導入されました。

在宅寝たきり高齢者等訪問歯科診療促進事業

決算書

124～125ページ

担当

社会健康課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	2,208			1,902	306
25年度	2,208			2,189	19
26年度	2,065			2,172	△ 107

※財源については、翌年度に精算するため過剰になっている場合があります。

高齢者などで寝たきりの方にとって、食事を自分で噛んで食べることが、栄養面で身体機能の維持に大きく影響することから、全身状態の改善や生活自立の向上のために、歯科医師による訪問診療や、歯科衛生士による訪問指導を行いました。

【事業の実施状況】

○ 健康診査

事業年度	申込 件数	実施 件数	結果内容(複数回答)(件)				
			要指導	要治療	処置不	処置不	診療紹
24年度	30	30	30	30	0	0	30
25年度	25	25	25	25	0	0	25
26年度	26	26	26	26	2	0	26

○ 訪問診療

事業年度	診療件数		診療内容(複数回答)(件)				
	実人員	延件数	義歯制作	義歯調整・修	歯周疾患	う歯	その他
24年度	30	167	15	66	32	0	65
25年度	24	108	9	31	38	0	47
26年度	24	84	11	43	17	0	26

○ 口腔ケア

事業年度	口腔ケア件数		診療内容(複数回答)(件)		
	実人員	延件数	口腔清掃	義歯の手入れ	その他
24年度	30	203	203	203	32
25年度	25	160	156	156	27
26年度	17	108	108	71	12

妊婦乳幼児健康診査事業

決算書

128～129ページ

担当

社会健康課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	17,988	4,036		10,230	3,722
25年度	18,469			18,469	0
26年度	19,015			19,015	0

妊婦及び乳幼児の健康の保持・増進を図るため、妊婦健康診査及び乳幼児健康診査の受診券を配付し、異常の早期発見を促すとともに、適切な援助に努めています。

平成21年度から、妊婦に対する健康診査についての望ましい基準として定められている、妊娠から出産までに行う妊婦健康診査14回分の費用を助成しています。

【事業の実施状況】

- 受診券の交付（妊婦1人あたり）

妊婦健康診査	
一般健康診査（妊娠初期検査）	1枚
子宮頸ガン検診	1枚
クラミジア検診	1枚
妊婦一般健康診査	14枚

乳児健康診査	
一般健康診査	2枚
精密健康診査	3枚以内
※ 医師の指示により申請があった場合	

- 妊娠から出産までの妊婦1人あたり助成金額：90,040円（受診券を金額に換算）

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。



妊産婦健康診査等支援事業

決算書

128～129ページ

担当

社会健康課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	4,374			2,648	1,726
25年度	4,602			2,995	1,607
26年度	4,696			3,074	1,622

大竹に暮らしながら、安心して出産に備えることができるよう、出産費用等の一部を助成しています。

妊婦健康診査の受診回数に応じて助成することにより、妊婦健康診査の受診を促し、より安全な出産が行えるように支援します。

【事業の実施状況】

年 度	申請者(人)
24年度	188
25年度	194
26年度	204

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。

障害者基本計画等策定事業

決算書

107ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	3,100				3,100

平成18年度に策定した、障害者のための施策全般に関する基本的な計画である「大竹市障害者基本計画」が26年度で最終年度となったため、平成27年度から平成32年度までの6年間を計画期間とする「大竹市第2次障害者基本計画」を策定しました。

また、障害福祉サービス提供体制の確保その他の事業の円滑な実施に関する計画である「障害福祉計画」も最終年度を迎えたため、平成27年度から平成29年度までの3年間を計画期間とする「第4期障害福祉計画」をあわせて策定しました。

両計画の策定に当たって、障害者の生活実態や課題を把握するため、障害者手帳所持者、障害者関係団体、障害福祉サービス事業所等にアンケート調査を実施し、課題等を計画に反映しました。

【事業の実施状況】

○ 委託料 3,100千円

新

子ども・子育て支援事業計画策定事業

決算書

112～113ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	3,391				3,391

平成24年8月に「子ども・子育て関連3法」が制定され、平成27年4月から「子ども・子育て支援新制度」がスタートしたことに伴い、平成27年度から平成31年度までの5年間に計画期間として、すべての子どもと子育て家庭を対象に市が今後進めていく子育て支援施策の方向性や目標を定めた「大竹市子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。

策定に当たっては、小学校6年生以下の児童のいる家庭の子育ての実態や意向、課題などを把握するためのニーズ調査やパブリックコメントの実施により、市民ニーズの把握に努めるとともに、保護者及び市内の福祉・教育関係団体などの代表で構成される「大竹市子ども・子育て支援事業計画策定会議」を設置し、計画内容の検討や今後の子育て支援のあり方についての認識の共有を図りました。

【事業の実施状況】

- 報酬 440千円
- 委託料 2,951千円

家庭児童相談事業

決算書

117～118ページ

担当

福祉課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	7,042	371			6,671
25年度	6,902	46			6,856
26年度	6,786	364			6,422

家庭で養育困難な0歳から18歳未満の児童における養護、障害、非行、育成等の問題について専門知識を有する相談員2名を配置して、相談・助言を行っています。

【事業の実施状況】

- 相談件数 平成24年度 1,642件
- 平成25年度 1,721件
- 平成26年度 1,505件

- 報酬 6,369千円 (社会保険料含む)
- 旅費 230千円
- 需用費 57千円
- 役務費 55千円
- 負担金 70千円
- 公課費 5千円

子育て支援センター等運営事業

決算書

119～120ページ

担当

福祉課

・子育て支援センター（通称 どんぐりHOUSE）

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	186	3,700		49	△ 3,563
25年度	91	3,710			△ 3,619
26年度	94	4,968			△ 4,874

※ 国県支出金は、職員人件費を含んだ補助金の額を掲載しているため、一般財源がマイナスとなっています。

地域全体で子育て支援する環境づくりを行う拠点として、どんぐりHOUSEに保育士2名を配置し、育児不安に対する相談指導や子育てサークルなどの育成・支援を行っています。

・さかえ子育て支援センター

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	6,827	3,700			3,127
25年度	6,827	3,710			3,117
26年度	7,412	4,968			2,444

地域全体で子育てを支援する環境づくりを行う拠点として、平成23年度に開設しました。運営管理は、指定管理者である「ひまわり福祉会」が行っています。

・松ヶ原こども館

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	6,067	1,780			4,287
25年度	5,785	2,390			3,395
26年度	6,211	3,209			3,002

地域やNPO法人と協働して、遊び場を提供しながら育児不安に関する相談指導や子育てサークルなどの育成・支援を行っています。運営は、「NPO法人子育てハッピーネットほのぼん」に委託しています。

【事業の実施状況】

〈子育て支援センター（どんぐりHOUSE）、さかえ子育て支援センター〉

- 開館日数 244日/年 ※毎週月～金曜日（祝日・年末年始を除く）
- 開館時間 10時～16時30分（12時～13時を除く）
- 利用料 無料
- 利用対象 市内在住の小学校就学前の子どもと保護者、ボランティアの方
- 年間利用者数 どんぐりHOUSE : 延べ8,196人（前年比 ▲635人）
さかえ子育て支援センター : 延べ8,665人（前年比+1,997人）

〈松ヶ原こども館〉

- 開館日数 141日/年 ※毎週月・水・金曜日（祝日・年末年始を除く）
- 開館時間 10時～16時
- 利用料 無料
- 利用対象 乳幼児・小・中学生とその保護者、子育てボランティア
- 年間利用者数 延べ2,833人（前年比 ▲64人）

高齢者福祉計画・介護保険事業計画策定事業

決算書

105ページ

担当

保険介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	6,430				6,430

平成27年度から29年度までの3年間を計画期間とする『高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画』を策定しました。

この計画で、向こう3年間の介護サービス利用量の推計を行い第6期介護保険料を算定したほか、2025年を目標年とする地域包括ケアの実現に向けた取り組みなどを決めました。

【事業の実施状況】

- 委託料 6,430千円

ゆうあいの里改修事業

決算書

109～110ページ

担当

保険介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	47,020		11,900	32,794	2,326

施設の老朽化に伴い漏水等が発生していたため、全面的な屋根防水・外壁改修工事を行いました。

【事業の実施状況】

- 工事請負費 43,170千円
(ゆうあいの里屋根屋上防水・外壁改修工事)
- 委託料 2,592千円
(ゆうあいの里屋根屋上防水・外壁改修工事監理業務)
- 事務費 1,258千円

乳幼児等医療費助成事業

決算書

114ページ

担当

保険介護課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	40,765	12,307		18,570	9,888
25年度	40,123	11,943		18,178	10,002
26年度	44,001	14,342		18,336	11,323

疾病の早期発見と治療の促進を図り、乳幼児などの健やかな成長を支えるため、乳幼児などに係る医療費の自己負担分の一部を助成しました。

県の補助制度に準じて小学校就学前までの乳幼児の入院・通院に対して助成を行うとともに、市独自の制度として、小学校就学中の児童の入院に対し助成を行っていましたが、平成22年度から小学校就学中の児童の通院に対しても助成を行っています。

【事業の実施状況】

○ 一部負担金及び支払日数

- ・ 保険医療機関等ごとに、1日につき500円までを負担
- ・ 入院（月14日まで）
- ・ 通院（月4日まで）
- ・ 柔道整復、あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう（月4日まで）

○ 受給者数の状況（月平均）

年度	県費対象者	市費対象者	合計
24年度	1,172人	1,061人	2,233人
25年度	1,202人	1,053人	2,255人
26年度	1,244人	1,047人	2,291人

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。



地域密着型サービス事業

決算書

255ページ

担当

保険介護課

【介護保険特別会計】

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	230,073	86,278		95,480	48,315
25年度	241,545	90,579		100,241	50,725
26年度	316,497	118,686		131,346	66,465

介護が必要な方が、住み慣れた地域で生活することを支援するサービスです。
 現在大竹市には、定期巡回・随時対応型訪問介護看護：1事業所、認知症対応型通所介護：2事業所、認知症対応型共同生活介護（グループホーム）：3事業所、小規模多機能型居宅介護：2事業所及び地域密着型介護老人福祉施設：1事業所があります。

【事業の実施状況】

○ 地域密着型サービスの種類と状況

サービスの種類	サービスの内容	1月あたりの定員 (H27.3)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	日中・夜間を通じて、定期的な巡回と随時の通報により自宅を訪問し、入浴、排せつ、食事などの介護や、緊急時の対応を行うもの	—
認知症対応型通所介護	認知症の人を対象に専門的なケアを提供する通所介護	24人
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	認知症高齢者がスタッフの介護を受けながら共同生活を行うもの	45人
小規模多機能型居宅介護	通所を中心に、利用者の選択に応じて訪問や泊まりのサービスを組み合わせて提供するもの	45人
地域密着型介護老人福祉施設	定員29人以下の特別養護老人ホームで、入所者の入浴、排せつ、食事等の介護や日常生活上の世話等を行うもの	29人

○ 平成26年度実績

サービスの種類	給付費 (千円)	件数 (年間)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1,378	5件
認知症対応型通所介護	58,580	512件
認知症対応型共同生活介護（グループホーム）	114,058	487件
小規模多機能型居宅介護	70,950	441件
地域密着型介護老人福祉施設	71,531	314件
合計	316,497	1,759件

地域包括支援センター運営事業

決算書

257ページ

担当

保険介護課

【介護保険特別会計】

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	27,806	18,313		4,601	4,892
25年度	29,083	19,110		4,834	5,139
26年度	29,984	17,765		5,922	6,297

平成18年4月から、大竹市地域包括支援センターをサントピア大竹に設置しました。主任ケアマネジャー、社会福祉士、保健師などが連携し、次のような業務を行い、総合的に高齢者を支えています。

業務の種類	業務の内容
介護予防ケアマネジメント	○要介護認定の申請 ○要支援者のケアプラン作成
総合相談	○地域の高齢者に関する相談
権利擁護	○高齢者の虐待相談 ○成年後見制度の申請補助
包括的・継続的ケアマネジメント	○ケアマネジャーの支援やネットワークの構築 ○さまざまな機関や職種と連携した支援困難事例への対応

【事業の実施状況】

大竹市社会福祉協議会に委託し、8人体制で事業を実施しました。

○ 相談延件数（相談経路・相談内容別）

		相談経路					
		本人・家族	民生委員・ 児童委員・ 地域住民等	介護事業所 等	行政・その 他	計	
24年度	相 談 内 容	介護保険（制度・サービス）	316	69	125	65	575
	介護保険外サービス	94	52	76	60	282	
	成年後見制度	10	1	1	3	15	
	虐待	8	0	9	8	25	
	消費者相談（悪徳商法等）	0	0	3	2	5	
	認知症	36	4	14	13	67	
	その他	106	36	26	55	223	
計	570	162	254	206	1,192		
25年度	相 談 内 容	介護保険（制度・サービス）	528	120	213	76	937
	介護保険外サービス	136	44	51	21	252	
	成年後見制度	13	0	14	6	33	
	虐待	8	0	15	11	34	
	消費者相談（悪徳商法等）	9	0	7	2	18	
	認知症	36	7	14	10	67	
	その他	52	16	17	25	110	
計	782	187	331	151	1,451		
26年度	相 談 内 容	介護保険（制度・サービス）	510	111	158	85	864
	介護保険外サービス	126	67	110	82	385	
	成年後見制度	26	1	7	12	46	
	虐待	10	3	3	12	28	
	消費者相談（悪徳商法等）	3	0	2	1	6	
	認知症	49	12	21	12	94	
	その他	109	55	91	85	340	
計	833	249	392	289	1,763		

(5) 心にゆとりを感じるまちづくり

環境美化推進事業

決算書

126ページ

担当

環境整備課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	1,402				1,402
25年度	2,701				2,701
26年度	1,645			1,400	245

「健康で明るく住みよい美しい郷土」を目指して、きれいで快適なまちづくりを推進すべく、地域に密着した環境美化活動に取り組んでいる「公衆衛生推進協議会」の活動に対して支援しました。

【事業の実施状況】

- 公衆衛生推進協議会の以下の事業を支援しました。
 - ・ごみステーションの清潔の保持に関する事業
 - ・市民の環境美化意識の向上に関する事業
 - ・公共の場における花いっぱい運動及び緑化に関する事業
 - ・衛生害虫の駆除に関する事業
 - ・協議会運営事業



地域不法投棄対策事業

決算書

125～126ページ

担当

リサイクルセンター

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	4,417	2,162			2,255
25年度	7,088	3,850			3,238
26年度	9,280	4,500			4,780

※上記事業費には事務費を含みます。

地域の快適な生活環境を守るため、ごみの適正な排出に関する普及啓発活動の実施、監視パトロールや団体・市民等の協力による不法投棄の早期発見、不法投棄廃棄物の回収・処理等の取組みを実施しました。

【事業の実施状況】

- ・市内監視パトロールによる不法投棄廃棄物の早期発見及び回収（週4～5回）
- ・普及啓発活動（ごみ収集カレンダーや自治会回覧板への不法投棄防止に関する事項の掲載による周知）
- ・自治会連合会が実施する「ごみの不法投棄実態調査及び回収処理」への協力（1～3月実施）
- ・不法投棄対策連絡会の開催（構成：自治会連合会，大竹警察署，公衆衛生推進協議会，市関係部署）
- ・公衆衛生推進協議会主催の「おおたけクリーンキャンペーン」への協力（平成26年9月28日実施）
- ・広島西部地域廃棄物不法投棄防止連絡協議会による合同監視パトロールへの参加（平成26年11月20日実施）
- ・不法投棄監視カメラの増設
- ・不法投棄防止啓発看板・ネット・のぼりの設置及び配付
- ・公衆衛生推進協議会が実施する不法投棄防止活動への事業費補助



ごみ減量化・資源化促進事業

決算書

132～135ページ

担当

リサイクルセンター

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	17,935			17,935	0
26年度	10,743			10,743	0

家庭から排出されるごみを資源として有効に活用するなど、ごみの減量化を推進するために、さまざまな施策に取り組みました。

【事業の実施状況】

- ・13区分による分別収集の徹底に努め、資源としての有効的な活用を図りました。
- ・リサイクルセンターへの家庭ごみの搬入に「事前予約制度」を実施し、受付時に住所確認を行い、市外からのごみや事業系ごみの家庭ごみとしての搬入の防止を図りました。
- ・生ごみの堆肥化による減量を積極的に進めるため、生ごみ処理容器の購入に対して、補助を行いました。
- ・ごみの分別方法やごみの排出に係るルール等について詳しく掲載した、ごみ収集カレンダーを市内全世帯に配付し、市民の皆さんに適正なごみ出しや資源としての有効な活用を促しました。
- ・シルバー人材センターが、リサイクルセンター内に搬入されたせん定枝等をチップ化し、腐葉土として販売する取組みに対して支援を行い、せん定枝等の資源化を図りました。
- ・貴金属やレアメタルなどの希少金属を含む小型家電製品を、資源としてリサイクルするため、使用済小型家電の回収ボックスを市役所、各支所及び公民館等10カ所に設置しました。

可燃ごみ広域処理事業 新

決算書

135ページ

担当

リサイクルセンター

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	17,274		400		16,874

福山リサイクル発電事業への参画が平成30年度末で終了することに伴い、本市の平成31年度以降の新たなごみ処理システムの方針について、可燃ごみの処理を廿日市市との広域連携による事務委託とすることで、合意しました。

これにより、可燃ごみ処理施設等整備事業及び関連事業に要する経費のうち、平成26年度分について、本市負担分を負担しました。

今後、平成31年度からの新たなごみ焼却施設の稼働に向けて、廿日市市と十分な調整を図りながら事業の円滑な推進に取り組めます。

【事業の実施状況】

一般廃棄物処理施設基本計画業務に係る負担金	9,000千円
生活環境影響調査業務に係る負担金	7,734千円
測量調査業務に係る負担金	540千円

市民文化講演会事業

決算書

181ページ

担当

生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	1,241	600		697	△ 56
25年度	1,389	470		621	298
26年度	1,745			874	871

政治、経済、医療等の各分野で著名な講師を招き、社会状況に応じたテーマを選定することにより、今後の大竹市のまちづくりに繋がる講演会を開催しました。

【事業の実施状況】

年度	講 師	テーマ	受講者数 (人)
24年度	香山 リカ さん	「ひとにも自分にもやさしく生きる」	527
	勝間 和代 さん	「やればできる」～あなたを変える4つの力～	480
25年度	茂木 健一郎 さん	～男と女の脳は違うの!?!～ 幸福になる「脳の使い方」	742
26年度	尾木 直樹 さん	「子どもも大人も居心地の良い家庭・地域をめざして」	720

小方学園プール開放事業

決算書

176, 178, 193～194ページ

担当

生涯学習課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	2,985			2,766	219
26年度	2,712			2,695	17

市民の健康増進と水泳振興を図るため、小方学園の屋内プールを市民に開放しました。

【事業費内訳】

- | | | | |
|-------|---------|-------|-------|
| ○ 賃 金 | 1,120千円 | ○ 委託料 | 999千円 |
| ○ 需用費 | 457千円 | ○ 役務費 | 136千円 |

【事業の実施状況】

○ 利用者数 (延べ人数)

区 分	幼 児	小学生	中学生	一般(高校生以上)	団体・教室	合計
25年度	675	1,839	277	1,459	47	4,297
26年度	337	1,367	200	1,029	42	2,975

※ 防衛省再編交付金基金を活用しています。

(6) 行政・社会の仕組みづくり

番号制度システム整備事業

新

決算書

89～90ページ

担当

企画財政課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	29,190	15,033			14,157

社会保障・税番号制度整備に伴い、主に住民基本台帳システムなどの既存の基幹業務システムを改修しました。

【事業の実施状況】

- 住民基本台帳システム及び地方税務システムの改修、団体内統合利用番号連携サーバ整備として17,104千円、中間サーバー負担金として981千円
(総務省：社会保障・税番号制度システム整備費補助金9,947千円)
- 国民健康保険システム、後期高齢者医療システム、障害者福祉システム、児童福祉システム、介護保険システム及び国民年金システムの改修として7,838千円(厚生労働省：社会保障・税番号制度システム整備費補助金5,086千円)
- 乳幼児医療システム、ひとり親家庭等医療システム及び重度心身障害者医療システムの改修、特定個人情報保護評価に関する支援業務として3,267千円(補助対象外)

土地造成支援事業

決算書

153ページ

担当

企画財政課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	361,348			94,372	266,976
25年度	237,158				237,158
26年度	222,246				222,246

土地造成特別会計の健全化のため、大竹工業団地に立地した工場に賦課される固定資産税額に相当する額及び小方ヶ丘の土地・家屋・償却資産に係る固定資産税に相当する額の26.5%と従来支援分(95,800千円)を土地造成特別会計に繰り出しました。

【事業の実施状況】

(単位：千円)

年度	土地造成特別会計繰出金決算額			
	従来分	大竹工業団地・小方ヶ丘分	その他	合計
24年度	95,800	171,176	94,372	361,348
25年度	95,800	141,358		237,158
26年度	95,800	126,446		222,246

協働のまちづくり推進事業

決算書

87～88ページ

担当

自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	336				336
25年度	3,218			200	3,018
26年度	1,173			100	1,073

※上記事業費には市民活動助成審査委員会委員報酬を含みます。

市民ニーズに対する満足度を高めるとともに、市民活動の自主性の向上を目的として、市民活動団体が地域の課題解決のため自ら提案・実施する事業を公募し、助成金を交付しています。

【事業の実施状況】

- 立ち上げから初期の団体の成長・自立を支援する
「スタート支援助成金：上限50千円」・・・4事業
- 新しい取組みに挑戦する団体を支援する
「ステップアップ支援助成金：上限100千円」・・・3事業
- 団体の活動に必要な施設や備品の整備を支援する
「施設整備等助成金：上限2,500千円」・・・1事業

＜事業内容＞

① ポップらんど「リトミックによる音楽療法活動」

【スタート支援助成金 50千円】

毎月2回の音楽療法を行い、音楽を楽しみ、音に合わせての即時反応、また、感じた音で自己表現をし、メンバー同士合奏をすることで仲間意識や達成感などの気持ち(心)を育てました。また、福祉まつりのステージ発表やドリームバザーのときにハンドベルを演奏しました。演奏曲も増え、表現の仕方も少しずつ向上しています。

② オレンジクラブ「オレンジクラブ事業（子育て支援事業）」

【スタート支援助成金 50千円】

大竹市に住む子育て中の保護者に対して、病院・健診・買物の付き添いや講演会、研修時の託児などの支援を行っています。

平成26年度は延べ17回の利用がありました。利用内容は、乳幼児健診中や小学校授業参観中の子守り、病院受診中の付き添いでの子守り、スポーツジムや美容院利用中の子守りなどです。

③ 大竹ホープ&ドリーム「ドリームバザー・福祉講演会の開催」

【スタート支援助成金 50千円】

大竹市総合福祉センター（サントピア）のロビーを会場としてドリームバザーを2回開催しました。大竹市近郊の8福祉事業所と3団体が集まり、日頃の活動の紹介や手作り品の販売、事業内容のPRを行いました。各事業所からも多数の参加者があり、販売も積極的に行われ、当事者参加型のイベントとして非常に意義のあるものになりました。

④ 特定非営利活動法人

広島ジャンボリー・プロジェクト「エンジョイライブ」

【スタート支援助成金 50千円】

音楽や創作活動の発表が出来る場所を提供するとともに最初から企画・進行をサポートし、協力して様々なイベントを開催しました。

- 大竹駅前丸山商店2Fで生涯学習グループ（音楽グループ）の発表会を開催。
- エスポワールおおたけにて「青春・歌謡グラフィティ」を開催。
- 大竹駅前「かき祭り」と同日開催の「エスポワール祭り」でライブを開催。

⑤ 大竹山の会「登山コース地図製作」

【ステップアップ支援助成金 100千円】

大竹山の会で登山地図原案を作成し、市関係部署と協議・校正したうえで、「大竹ハイキング登山ルートマップ」を2,000部印刷しました。

印刷した地図は、大竹市の公共施設で配布するとともに、夢プラザや近隣市町の山の会、また、登山ルートで出会った登山者にも直接手渡しました。

⑥ 木野の未来を明るくする会「木野交流館子育てサポートクラブ」

【ステップアップ支援助成金 100千円】

生後早い時期の子育て支援のため、「ベビーマッサージ」を5回開催しました。子育て中のお母さんたちのコミュニケーションの場にもなりました。

また、「昔遊び」として水鉄砲づくりや竹馬づくり、けん玉教室を実施しました。子どもたちが地域の方と一緒に物をつくり、学び、体験することで、世代を超えた交流を図ることができました。

⑦ おおたけ手すき和紙保存会「大竹和紙サポーターズ育成事業」

【ステップアップ支援助成金 100千円】

手すき和紙づくりの体験会を開催し、和紙づくりへの関心を深めるとともに、手すき和紙保存会の会員と交流することで、会の活動を支援する「大竹和紙サポーターズ」の育成を図りました。その中で、大竹和紙の現状やこれからサポートを必要としている作業について説明を行い、最後にアンケートにて今後の協力意向なども伺いました。

⑧ 地域ジンまちカフェプロジェクト「まちカフェプロジェクト」

【施設整備等助成金 630千円】

平成26年7月に開催した「まちカフェイベント」では、市内外から300人もの参加がありました。このことを契機にして、イベントで使用した空き古民家の「まちカフェ」と、同様に、空き古民家を利用して、昔の懐かしい写真や資料を常設展示する「まちの資料館」をつくりました。この2軒の古民家に空調設備（エアコン）と机・棚を整備しました。

エアコンと机・棚を整備することで、利用者にとって快適な空間を提供できるようになりました。



地区集会所整備補助事業

決算書

92ページ

担当

自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
25年度	364				364
26年度	2,221				2,221

コミュニティ活動の拠点である自治会が設置する地区集会所の整備を支援することで、コミュニティ活動を促進し市民自治の振興を図っています。

また、地区集会所だけでなく、自治会が所有している施設・設備等についても、地域住民が主体的に補修（新設含む）する場合は、原材料費を補助しています。

【事業の実施状況】

- 本町2丁目集会所建設等事業（解体工事，耐震補強，建材・内装材，大工工事，クロス工事，襖工事，トイレ工事，エアコン取付工事など）5,242千円（5,242千円のうち，地元負担額3,021千円，市補助額2,221千円）

コミュニティづくり推進事業

決算書

91～92ページ

担当

自治振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	6,510			5,600	910

地域の連帯を深め、住みよい地域社会の形成に向けて取り組んでいるコミュニティづくり推進協議会の活動に対して助成を行っています。

「コイ・こいフェスティバル・イン・おおたけ」の開催を支援するとともに、市民発信型の事業運営を目指した取り組みを進めています。

また、宝くじの社会貢献広報事業（一般コミュニティ助成事業）の財源を活用し、コミュニティ推進団体が行う備品の整備に対して補助しています。

【事業の実施状況】

- コミュニティづくり推進協議会運営補助金 260千円
- コミュニティづくり推進協議会活動補助金 150千円
- コイ・こいフェスティバル補助金 2,500千円
- 宝くじコミュニティ助成事業補助金（一般コミュニティ助成事業） 3,600千円
 - ①本町2丁目自治会（机，イス，テント，冷蔵庫ほか） 1,500千円
 - ②新町3丁目自治会（机，座卓，折りたたみ椅子，掲示板，テレビほか） 2,100千円

土地開発公社経営健全化事業

決算書

152ページ

担当

監理課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	22,767	6,238	4,600	504	11,425
25年度	156,335		147,900		8,435
26年度	6,120				6,120

土地開発公社では、事業用地や代替地の先行取得を行ってきましたが、経済情勢の悪化もあり、保有地の事業化等が進んでいない状況です。健全な経営に向けて、借入金による負担を軽減するための利子補給や、代替地を処分した際に生じる地価下落による帳簿価格と売却価格の差額について補てんしています。

【事業の実施状況】

平成26年度は、土地開発公社が分譲地3区画を売却処分しました。



(7) 住みたい、住んでよかったと感じるまち

広島県緊急雇用対策基金事業（地域人づくり事業）

新

決算書

138ページ

担当

産業振興課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
26年度	11,599	11,593			6

【事業の実施状況】

○雇用拡大コース

- ・ 中小企業経営指導者養成事業

中小企業に対して適切な経営指導や相談等の業務を担う人材を、大竹商工会議所が新規に2名を雇用して育成しました。

- ・ 水産物地産地消推進員養成事業

地元水産物の消費拡大及び販売促進を目指して、水産物の知識、魚のさばき方、地元水産物販売所の運営方法等の地産地消を積極的に推進するための基礎知識・技術を習得する人材を、くば漁業協同組合が新規に1名を雇用して育成しました。

○処遇改善コース

中小企業の在職者の賃金アップを図るため、大竹商工会議所に委託して、経営向上コース（複式簿記講習会・ビジネスセミナー）や技術向上コース（各種技能講習会）の講座を開催しました。

経営向上コース：全3コース開催（延べ20名受講）

技術向上コース：全15講習会開催（延べ199名受講）

ケーブルテレビ施設利用促進助成事業

決算書

92ページ

担当

企画財政課

事業年度	事業費(千円)	財 源 内 訳 (千円)			
		国県支出金	地方債	その他	一般財源
24年度	160				160
25年度	700				700
26年度	360				360

ケーブルテレビサービスに新規加入した者（市内で住宅新築）に対して、初期費用の一部(1万円を上限)を補助しました。

【事業の実施状況】

- 利用促進補助金 360千円（補助対象者36名×10千円）

